



令和3年度

丹波すぐれもの大賞

TAMBA SUGUREMONO

兵庫県丹波県民局
県民交流室産業振興課



丹波地域は、四季折々の豊かな自然や、丹波栗・丹波黒大豆といったブランド農産物、日本遺産のデカンショ節や丹波焼、そして恐竜化石など、豊かな地域資源に恵まれ、様々な魅力にあふれています。また、優れた技術で産業界や地域の活性化に貢献している企業や、地域の特色を活かした優れた品質の食料品などオンリーワンの製品が数多くあります。



そこで、地域の将来を担う若者や内外の多くの方々に、これら丹波地域の企業の取組や製品・商品等について、その魅力を発信し、興味や関心を高めていただこうと、「丹波すぐれもの大賞」として顕彰しています。

令和3年度は、「きらめき（製商品）部門」「わくわく（食料品）部門」「ときめき（観光・交流）部門」の3部門併せて10件の応募の中から、学識者等からなる6名の審査委員による厳正な審査を経て、計6件の「すぐれもの大賞」を決定し、受賞された皆様には表彰楯をお贈りしました。

この賞による顕彰は11年目を迎えましたが、受賞後、全県・全国レベルの表彰に選定された方やテレビやラジオなどのメディアに取り上げられた方が数多くおられます。同じように、この度の受賞が今後企業の発展や製品の販路拡大に繋がることを期待しています。

県民局ではこれからも、「丹波すぐれもの大賞」として企業等の取組を広くアピールし、地域の活性化を図り多彩な産業・豊かなものづくりを誇る丹波地域の創造に貢献してまいります。今後も、ぜひ丹波地域の地元企業等の優れた取組に御注目ください。

丹波すぐれもの大賞の概要

丹波県民局では、地元企業の優れた企画・技術力を広くアピールし、地域の産業を活性化するとともに、地域資源を活用した事業やイベントによる観光・交流を促進するため、平成23年度から「丹波すぐれもの大賞」による顕彰を行っています。

3部門において審査を行い、特にすぐれた評価を受けた企業・団体・個人等を表彰しています。

◆ 表彰部門 ◆

きらめき(製商品)部門

革新的で高い技術により開発された、産業及びビジネスで活用される製商品

わくわく(食料品)部門

丹波地域の特色を活かした、独創的で優れた品質の食料品

ときめき(観光・交流)部門

地域資源を新たな工夫で活用し、観光・交流を促進する事業・イベント

◆ 募集期間 ◆ 令和3年9月6日～10月29日

◆ 審査委員会 ◆ 令和3年12月17日

すぐれもの大賞に選考された製商品等は、パンフレットの作成・配布や県民だよりひょうご、ホームページ等で地域内外へ広く発信し、丹波地域のものづくり産業、観光・交流への関心を高めることとしています。

令和3年度は全体で10件の応募があり、厳正な審査の結果、6件の「すぐれもの」を選出しました。

まず、革新的で高い技術により開発された、産業及びビジネスで活用される製商品を表彰する、「きらめき（製商品）部門」です。Maru Su Bags(マルスバッグ)の『ELARC（エルアーク）ポータブル蓄電池専用防水バッグ』は、雨天時の災害現場やアウトドアでの使用を可能にする防水性能を実現し、ポータブル蓄電池の可能性を飛躍的に高めました。イクジウッド(株)の『一人膳八寸』は、木目や色合いが異なる兵庫県産の一枚板の表面に独自のガラスコーティング加工を施し、撥水効果を高めつつ、天然木の風合いを損なわないよう仕上げた製品です。いずれも時代のニーズを捉え、機能性や使いやすさにこだわったもので、丹波のものづくりが結集した製品でもあります。

次に、丹波地域の特色を活かした、独創的で優れた品質の食料品を表彰する、「わくわく（食料品）部門」です。篠山ハム(株)の『丹波篠山モルタデッラ』は、絹引きの豚肉をベースに地元食材の猪肉と丹波黒豆を使用し、猪の野性感と黒豆の香りが楽しめる本格的なモルタデッラに仕上げた商品です。栗きん豚吉吉の『丹波栗きん豚まん』は、丹波で開発されたブランド豚「丹波栗きん豚」を100%使用し、玉ねぎと春雨だけのシンプルな具材で餡をまとめました。その人気は地元にとどまらず、遠方からもファンが訪れるほどです。いずれも丹波ならではの素材と、独自の技術や工夫を組み合わせ、他にはない魅力的な商品に仕上がっています。

最後に、地域資源を新たな工夫で活用し、観光・交流を促進する事業・イベントを表彰する、「ときめき（観光・交流）部門」です。(株)ゆめの樹野上野の『地域資源を活用した交流促進による持続可能な仕組み作り事業』は、丹波栗やシャインマスカット栽培などを地域資源として食事の提供や商品開発を行う一方、大学や保育園等との田植え体験等を通じた交流促進を図る取り組みが評価されました。『茅葺き一棟貸し古民家 森の風土』は、国重要伝統的建造物群保存地区にある築200年の茅葺き古民家を再生した一棟貸しの農家民宿で、丹波黒枝豆の収穫体験やめだかの捕獲体験等のイベントを実施、大学と地域住民が連携して取り組む伝統的建造物群や共有林の調査活動の交流拠点となっています。

以上、受賞内容について簡単にご紹介しましたが、今回惜しくも選外になった中にも創意工夫が凝らされているものが多くあり、丹波地域には大変素晴らしい企業・団体があることを改めて実感しました。

最後に、皆様が今回の受賞を契機にさらなる飛躍を遂げられますよう祈念しまして、簡単ではありますが講評とさせていただきます。



表彰式 令和4年3月7日

ELARC (エルアーク) ポータブル蓄電池専用防水バッグ

キらめき(機密)部門 KIRAMEKI DEPARTMENT



ポータブル蓄電池とは、
交流100Vで出力が
可能な蓄電池の枠内で、
電池本体で防水性能を有する
製品はほとんど存在しません。

電力出力中でも防水！

国際フロンティア産業メッセ2020に出展 /



Maru Su Bags (マルスバッグ)

当社は丹波市柏原町内に工房を持つ、医療救急防災関連バッグをフルオーダーで企画製作しているバッグメーカーです。現場の方々のご要望をしっかりと聞き取り、それを具現化して使いやすいバッグを製作することで、救命救急防災業務の側面的支援を行っています。

近年、リチウムイオン蓄電池からAC100V 出力が可能となった「ポータブル蓄電池」が、防災用品市場やアウトドア市場で急拡大しつつあります。しかし製品の特性上、放熱性を確保する必要があることから空冷ファンを備える製品が多く、防水性を謳う製品は極めて稀です。その一方利用シーンは雨天時も想定されることから防水性能を要望される声が大きくなっていました。この製品はその声にお応えして開発したELARC (エルアーク) ポータブル蓄電池専用防水バッグです。

外洋を航行する船舶の日よけやテントに採用される軽量・強撥水・強靱な対候性アクリルキャンバス生地と工業用防水塩ビを主素材とし、撥水性能を有するナイロン糸で縫いあげていますが、防水バッグとしての観点から極力縫製箇所を少なくする特殊構造となっています。降雨時に蓄電池を使用する際には、バッグ側面に収納しているひさし部分を取り出し、それによりカバーされた出力端子から電気を出力したり、放熱したりする事ができます。

時代はまさに化石燃料から電気へと推移しており、ポータブル蓄電池の必要性・重要性はますます高まっていくことでしょう。業界初 JIS 防水規格 IPX3 をクリアしたこのバッグが、そんなポータブル蓄電池の可能性を飛躍的に高めた画期的な製品として社会のお役に立てることを願っております。

縫製箇所を少なくする
⇒ 特殊構造 ⇒



会社概要

所在地 兵庫県丹波市柏原町柏原34田中ビル2F
代表者 細川 晋
創業 2017年11月
資本金 ー
社員数 3名
事業内容 医療救急防災関連バッグのオーダーメイド
問合せ先 TEL : 0795-86-8212 090-2595-3882
FAX : 0795-86-8212
E mail : otr0360@gmail.com
HP(URL) https://marusubags.deci.jp/
https://www.youtube.com/watch?v=w0BIHWkmqZU (製作動画)

会社沿革

平成29年11月 マルスバッグ創業
平成30年6月 丹波市へ移転
平成31年3月 経営革新計画承認
令和元年10月 「Maru Su Bags」「斜め2本線」商標登録済み
令和2年3月 令和元年度丹波すくれもの大賞受賞
令和3年4月 令和2年度ひょうごNo.1ものづくり大賞技術部門賞受賞(知事賞)
令和2年度ひょうごクリエイティブビジネスグランプリ優秀賞受賞



ガラスのような
木のお皿

一人膳 八寸

イクジウッド株式会社

イクジウッドは丹波市青垣町にある、大正14年創業の製材所です。「一人膳八寸」は自社で作ったオリジナル商品を世に出してみたい、そんな想いから出来上がった商品です。木製品というと大きくて、場所を取るというイメージがありますが、コンパクトで普段使いができ、何より場が和む、そんな木のある暮らしの提案のひとつになればと願い開発しました。

「一人膳八寸」は広葉樹の耳付き板（木の硬い樹皮を剥いた木肌が残っている形状のことで、耳の形状は一枚一枚異なり一つとして同じものがないのが特徴です）で作った木のお皿です。ケヤキ、サクラ、クリなどの身近なものから、エンジュ、カエデなど少し珍しい木材まで全て地元の木で作っています。それぞれに、木目、色合いに個性があり、耳付きと相まって野趣あふれる木のお皿ができました。

使い勝手の良さにもこだわって、独自のガラスコーティング加工（食品衛生法試験に適合）を施しており、料理を直接盛り付けても油シミになるのを防ぎ、使用後は台所用洗剤で水洗いするだけでよく、お手入れも簡単で清潔に長くご使用いただけます。晩酌の肴、お肉や魚料理、スイーツなど載せるだけで陶器のお皿にはない雰囲気があります。

おいしくお酒を飲む、楽しく料理を盛り付ける、また「これなんの木？どこの木？」など木の話で話が弾む、そんなシーンのお手伝いできればと思っています。



独自の
ガラスコーティング加工で
お手入れも簡単！

会社概要

所在地 兵庫県丹波市青垣町佐治751番地の2
 代表者 足立 成人
 創業 1925年
 資本金 2,500万円
 社員数 5名
 事業内容 製材業
 問合せ先 TEL : 0795-87-0028
 FAX : 0795-87-0029
 Email : info@ikujiwood.co.jp
 HP(URL) http://ikujiwood.co.jp/

会社沿革

大正14年4月 鉄道用枕木商として足立幾治商店を創業
 昭和35年9月 建築材の販売に合わせて製材所を開設
 昭和61年3月 木造住宅の設計施工をはじめると同時に建設業登録、一級建築士事務所を開設
 平成10年5月 足立幾治商店の業務一切を継承し、イクジウッド株式会社を設立
 平成31年1月 木のある暮らしをテーマとした木製品の製造販売事業を開始





丹波篠山モルタデッラ

ささやま 篠山ハム株式会社

<OEMの形で製造するメーカーです>

篠山ハムの商品は地元でも「知らない」「見たことがない」方のほうが多いでしょう。

弊社はクライアントの希望するオリジナル商品の開発から製造に至るまでをお手伝いするお仕事をしています。そのジャンルはハム・ソーセージに限らず様々な洋食材で実績を残しております。ユーザーは全国の一流ホテル、有名レストラン、高級スーパーやデリカテッセンと多岐にわたります。皆様が「これ美味しい!」と思われた料理が実は篠山ハム製だったりするかもしれません。普段は表に出ず影武者のような役割ですが、丹波篠山から日本中のグルメトレンドを作る夢を持ってスタッフ一同日々活動しております。

<丹波篠山モルタデッラは>

イタリアはボローニャ特産のモルタデッラが日本に紹介されて以来、多くのグルメに愛好されるようにな

りました。そのモルタデッラを「ここ丹波篠山でも作ってみたい」という想いで開発を始めて3年、やっと納得のゆく当商品を世に産み出すことが出来ました。日本では「ボローニャソーセージ」といえば単純に「太いソーセージ」と思われる中、ピロドのような舌触りとそこに散りばめられた食材の魅力をひとくちで楽しめるそんな本物のモルタデッラの完成です。赤身と脂身は猪の野性味を醸し、丹波黒豆の風味を存分に楽しめる丹波篠山ならではのモルタデッラです。



食材の魅力をひとくちで楽しめる
丹波篠山ならではの味わい



会社概要

所在地 兵庫県丹波篠山市野中521
代表者 岡邊 博昭
創業 2000年10月
資本金 1,000万円
社員数 18名
事業内容 食肉加工品製造業
問合先 TEL : 079-590-2200
FAX : 079-590-2202
HP(URL) <http://www.sasayamaham.co.jp/>

会社沿革

昭和53年 ヤマト食品(株)の食肉加工場として東大阪で創業
平成3年 工場を増設し、極上鴨ロース(ギフト用)を製造
平成9年 丹波篠山市(現在地)に工場新設移転
(株)おゝみやの製造部門「グルメ工房 篠山ハム」としてスタート
平成12年 (株)おゝみやより分離独立し、「(株)篠山ハム」とし発足
資本金 1,000万円
平成18年 会社譲渡により、「ヤマト食品(株) 篠山ハム」に社名変更
平成20年 「篠山ハム(株)」に社名変更



丹波栗きん豚まん

くり とん よし よし 栗きん豚吉吉

栗きん豚吉吉は、「丹波栗きん豚」の店として、「丹波栗きん豚」を使った豚まんの製造・販売、加工品、及び精肉の販売等を行っています。

丹波栗きん豚まんをつくるきっかけとなったのは、この豚まんが100%使用している豚肉「丹波栗きん豚」との出会いでした。

この「丹波栗きん豚」は、豚にエサとして、食用にされない丹波栗を与えており、うま味成分が高く、甘みがあり、やわらかい美味しい豚肉です。

この豚肉の美味しさをたくさんの方に知っていただくために、手軽に食べていただけるものはないかと考えたのが、この丹波栗きん豚まんです。豚肉の自然なおいしさを最大限に引き出せるよう豚肉と、玉ねぎ、春雨だけのシンプルな具材であんをまとめました。

販売先は当初、地元のイベントでの露店販売からスタートし、スーパーの催事や地域・季節のイベントなど

に出店しました。2年目からは、小さいながら自店舗をオープンし、店舗での販売も始めました。店舗では、出来立ての豚まんを提供しています。

また、急速冷凍庫を導入し、豚まんを急速冷凍する事で、当社豚まんの特徴である、もちもちの生地とジューシーな肉汁が詰まったあんの美味しさを封じ込め、ご家庭でも電子レンジにて簡単に食していただけるよう、冷凍食品としての提供も行ってまいります。

これからも、この豚まんが、丹波のお土産の一つとして、喜んでいただけるよう精進してまいります。



+

- 丹波栗を食べて育った豚は普通の豚より旨み成分が高く
- 柔らかい肉質と甘みが特徴!

+



会社概要

所在地 兵庫県丹波市春日町小多利71番地2
 代表者 吉見 憲明
 創業 2016年11月3日
 資本金 一
 社員数 2名
 事業内容 菓子製造・販売、精肉販売、加工品販売等
 問合せ先 TEL：090-4649-1094
 営業時間 11時～17時（定休日：日・月曜日）
 HP(URL) <https://www.yoshiyoshi.jp>

会社沿革

平成28年11月 屋号「吉吉」、手づくり豚まんの店として創業
 平日に豚まん製造し、土・日・祝祭日の各種イベントにて豚まん販売
 土曜日スーパーにて豚まん販売
 平成29年12月 丹波市春日町にて自店舗オープン
 令和元年6月 「丹波栗きん豚」の精肉販売開始
 令和3年2月 丹波栗きん豚の店として屋号を変更し、「栗きん豚吉吉」とする



地域資源を活用した交流促進による持続可能な仕組み作り



地域資源を活用した食事も「コト消費体験が楽しめる」



株式会社ゆめの樹野上野

「あとにつづく者達のために…地域資源を活かし夢と活力を創造する」

近い将来、超高齢化社会が到来し、今後様々な問題が溢れ出す事が現実視されています。

このような時代の中、集落が自立し持続可能な仕組みを構築するため、野上野まちづくり協議会を設立、続いて推進母体となる全国的にも珍しい自治会100%出資の自治会法人「株式会社ゆめの樹野上野」を設立しました。

かつて果樹で栄えた歴史的背景を活かし、丹波市、関西国際大学、若手農業者と連携した苺栽培の研究や放棄地を利用した「丹波栗1000本」「シャインマスカット30本」の栽培等の生産基盤を整備する一方、地域資源の活用による6次産業化として、「赤飯の素」「黒豆ごはんの素」「栗いなりの素」「大納言みそ」「黒豆そうめん」「黒豆かりとう」「シャインマスカットの干しブドウ」等の商品

開発も行っていきます。

総務省「地域経済循環創造事業」の採択を受け、地域資源を活用した食事や「体験・交流・学び」の要素を取り入れたコト消費体験(栗ようかん、黒豆わらび餅、モンブラン、栗きんとん、黒豆味噌作り)等が楽しめる活用拠点施設「ゆめの樹館」を設け、都市部との交流促進の仕組みを構築し、野上野自治会の「循環型まちづくり」の実現を目指しています。



会社概要

所在地 兵庫県丹波市春日町野上野1026-3
 代表者 尾松 賢作
 創業 2015年4月1日
 資本金 6,200万円
 社員数 2名
 事業内容 農業生産、販売、飲食業
 問合せ先 TEL: 0795-74-3030
 FAX: 0795-74-3031
 E-mail: yumenoki-nokono@spice.ocn.ne.jp
 HP(URL) http://yumenoki-nokono.jp

会社沿革

平成21年2月 野上野まちづくり協議会設立
 平成25年3月 放棄地を活用し、栗842本を新植
 平成27年4月 自治会100%出資 自治会法人株式会社ゆめの樹野上野設立
 12月 総務省「地域経済循環創造事業」採択
 平成28年8月 特産品を活用した食事と食育体験が楽しめる活動拠点施設「ゆめの樹館」オープン
 平成29年1月 放棄地を活用し、シャインマスカット30本を新植
 平成30年2月 放棄地を活用し、栗164本を新植
 12月 兵庫県「人間サイズのまちづくり賞」知事賞受賞
 令和2年12月 近畿農政局「ディスカバー農村漁村(むら)の宝」受賞
 令和4年2月 丹波市温室ハウスを活用し、苺栽培、研究を開始



茅葺き一棟貸し古民家 森の風土

- 国重要伝統的建造物群保存地区内にある
- 築200年のかやぶき古民家

もり ふう ど 森の風土

丹波の山奥である「森」の中での田舎暮らし体験などをしてみたい方を「風の人」、この地で数千年の歴史と共にしている地域の人を「土の人」、その「風」と「土」が交流出来るプラットホームとしての役割を果たしたく、「森の風土(もりのふうど)」と命名しました。

*移住相談 (IターンUターンなど) 無料で喜んで承ります。

約200年前に建てられた茅葺古民家

古民家の良さを最大限に引き出しながらも、新しい工夫が詰まった昭和30年代の空間。茅の下でまるで自分の故郷のようにゆっくり、ゆったりとした時間をお過ごし頂けます。

また、「森の風土(もりのふうど)」は福住地域をはじめ、たくさんの地元の人に支えられております。

この宿をきっかけに、地域全体を一つの宿として、昔ながらの田舎のあたたかい「おもてなし」をお楽しみください。

日本の古き良きものと時間を過ごす古民家宿

(自炊につき、食料・飲み物など持ち込み自由)

- 昭和の生活** 囲炉裏・土鍋・陶器(立杭焼)・ラジオ・レコード・蚊帳(かや)・下駄・ぶたちゃん香取線香
- 瞑想** 2階には茅葺の屋根裏がごぞいます。まるでタイムスリップしたような時をお過ごしください。
- 体験**
 - ・農作物収穫(丹波篠山黒豆・枝豆・野菜等)
 - ・丹波黒大豆栽培体験(種蒔、定植、除草作業、収穫)
 - ・栗拾い・夏秋冬野菜の収穫体験・蛍観賞
 - ・めだか捕獲体験・柿取体験



昔ながらの田舎の
あたたかい「おもてなし」



。

会社概要

所在地 兵庫県丹波篠山市川原194-1
 代表者 森田 忠
 創業 2015年8月1日
 資本金 一
 社員数 2名
 事業内容 茅葺一棟貸し古民家
 問合せ先 TEL: 079-557-0759
 FAX: 079-557-0759
 HP(URL) <https://www.morinofudo.com>

会社沿革

平成27年8月 茅葺き一棟貸し古民家 森の風土を創業
 平成30年9月 NHKテレビ「関西ええとこ」で取材放映
 令和2年6月 戦略的移住推進モデル事業により、地域内の資源の見直しや、移住者形態の分析が進む
 令和3年8月 兵庫県無形文化財ヘリテージマネージャー養成講習会を受講
 案内に深みを目指す
 令和3年11月 「ことりっふ 丹波篠山」(昭文社)2021年11月1日発行に掲載

過去5年間の受賞企業・製商品等



平成28年度
株式会社青山産業研究所(丹波篠山市)
こはぜブレスレット



平成28年度
株式会社サンバック 市島工場(丹波市)
フットグルーマー



平成28年度
株式会社田村機械製作所(丹波市)※
栗の鬼皮剥き機
※平成29年で廃業。現在は株式会社東洋風圧で取り扱い



平成29年度
株式会社おいたて工務店(丹波篠山市)
SETTE (企画住宅)



平成29年度
パナソニックライティングシステムズ株式会社
春日工場 (丹波市)
LED投光器モジュールタイプ



平成30年度
株式会社横谷(丹波市)
フロアtatami



平成30年度
株式会社ささやまビーファーム(丹波篠山市)
篠山精油・篠山石炭



平成30年度
フォト・ブランニング(丹波市)
クリーンライフプロ



令和元年度
株式会社オオツキ(丹波市)
ぬっくモーる



令和元年度
Maru Su Bags(丹波市)
医療・救急・防災用
フルオーダーバッグ



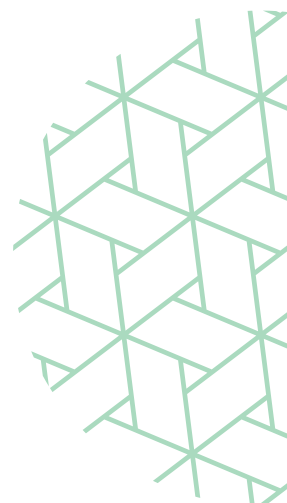
令和元年度
株式会社藤本林業所(丹波篠山市)
置き床生活



令和2年度
ジョリーメゾン株式会社(丹波市)
ジョリーメゾンのトップンチーノ®



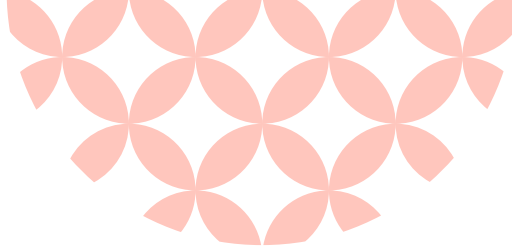
令和2年度
谷水加工板工業株式会社(丹波市)
SEREN desk



平成28年度
アイクレオ株式会社 柏原工場(丹波市)
アイクレオのバランスミルク



平成28年度
丹波小林屋(丹波市)
バジル茶



平成28年度
合同会社とあっせ (sasurai) (丹波篠山市)
パティスリーバトン



平成29年度
有限会社こやま園 (丹波市)
丹波なた豆茶



平成29年度
たんばJUNちゃん農園 (丹波市)
丹波発大人のPongashi



平成29年度
丹波婦木農場チーズ工房 (丹波市)
ナチュラルチーズ サンマルセラン



平成30年度
株式会社まさゆめさかゆめ (丹波市)
夢ばあむ



平成30年度
株式会社友縁 / 大連飯店 (丹波市)
丹波ゴールドエッグー栗一
丹波ドラゴンエッグー黒ごま一



令和元年度
ケンミン食品株式会社 篠山工場 (丹波篠山市)
冷凍 丹波篠山産丹波黒大豆



令和元年度
御菓子司 荒木本舗 (丹波市)
あざみ菜まんじゅう



令和元年度
株式会社西山酒造場 (丹波市)
小鼓 モンテオエステ ジン



令和2年度
株式会社ナカタニ(丹波篠山市)
丹波黒豆肉粽(ちまぎ)



令和2年度
株式会社丹波婦木農場(丹波市)
蔵熟成ゴータ



令和2年度
株式会社西山酒造場(丹波市)
丹波小鼓美白醇酒



平成29年度
合同会社里山工房くもべ(丹波篠山市)
旧雲部小学校舎を活用した地域づくり



平成30年度
丹波篠山・まちなみアートフェスティバル
実行委員会(丹波篠山市)
丹波篠山・まちなみアートフェスティバル



令和元年度
丹波ハビネスマーケット実行委員会(丹波市)
丹波ハビネスマーケット



令和2年度
たんば JUNちゃん農園(丹波市)
快汗・共汗・楽農・楽食体験 in 丹波



過去の受賞企業・団体の製品と事業

～3部門各1件、それぞれの特徴と今～

製商品を対象にした「きらめき(製商品)部門」、食料品を対象にした「わくわく(食料品)部門」、観光や交流の事業を対象にした「ときめき(観光・交流)部門」の3つの部門がある「丹波すぐれもの大賞」。令和2年度の第10回までに計54件の受賞がありました。その中から、各部門1件ずつを取り上げ、それぞれの特徴と“今”を紹介します。

きらめき(製商品)部門

ダンロップスポーツ(株)市島工場
(現・住友ゴム工業(株)市島工場)

ゴルフボール (XXIOシリーズ/
SRIXON Z-STARシリーズ)

わくわく(食料品)部門

株式会社諏訪園

新栗もち

ときめき(観光・交流)部門

合同会社里工房くもべ

旧雲部小学校舎を
活用した地域づくり

平成24年度受賞

ゴルフボール XXIOシリーズ SRIXON Z-STARシリーズ

- **ダンロップスポーツ(株)市島工場**
(現・住友ゴム工業(株)市島工場)

▼ 松山選手が絶大な信頼を寄せる勝負球「SRIXON(スリクソン)Z-STARシリーズ」



DATA

本社所在地 兵庫県神戸市中央区脇浜町3丁目6番9号

市島工場 兵庫県丹波市市島町梶原5

事業内容 タイヤ、スポーツ用品、ゴム産業品の製造および販売



◀ 丹波製スリクソンゴルフボールを手に、笑顔の松山英樹選手

2021年のスポーツ界で最大の話題の一つとなった、ゴルフ海外メジャー大会「マスターズ・トーナメント」での松山英樹選手の優勝。アジア人として初となるこの快挙は、平成24年度に受賞したダンロップスポーツ株式会社(現・住友ゴム工業株式会社)市島工場製のゴルフボール、「SRIXON(スリクソン)Z-STARシリーズ」が支えたものでした。丹波製のゴルフボールが、松山選手の世界

一に貢献したのです。松山選手は、このスリクソンボールを長年使い続けており、大きな飛びや高いコントロール性能だけではなく、市島工場が生み出す高い品質安定性にも絶大な信頼を寄せています。同社では、「自分たちの作ったボールが松山選手の世界一に貢献したのだ」という誇りを胸に、世界中のゴルファーの信頼と期待に応え、笑顔やヨロコビにつながる製品づくりに取り組んでいます。

平成27年度受賞

新栗もち

● 株式会社諏訪園 ●

▼ 自家栽培や地元の栗を使って製造している「栗もち」



DATA

本社所在地 兵庫県丹波篠山市味間奥1463

事業内容 茶・菓子製造販売



◀ 諏訪園を代表するブランド商品「栗もち」

独自の生産加工製法を確立し、丹波栗の風味をそのままに、新鮮な自然色を残したまま加工することに成功した生菓子です。生菓子だけで60品目も製造販売している中で、5年ほど前にそれまでのトップ商品だった「いちご大福」を抜き、一番の売れ行きを見せています。丹波すくれもの大賞受賞時は、販売期間が2カ月でしたが、お客さんからの強い要望で今では9月10日頃から3カ月間、販売しています。

自家栽培の栗と地元生産者の栗を使っています。諏訪園の所有している栗園の本数は以前、100本でしたが、今では200本に増えました。また、地元からの集荷量も大賞受賞時は1トンほどでしたが、7トンほどに飛躍的に増えました。大賞受賞時は、それまでから作っていた栗もちを進化させたものだったので、「新栗もち」と名付けていましたが、今は「栗もち」として販売しています。

平成29年度受賞

旧雲部小学校舎を 活用した地域づくり

● 合同会社里山工房くもべ ●

▼ 閉校になった校舎を生かした里山工房くもべ



DATA

本社所在地 兵庫県丹波篠山市西本荘西ノ山2-1

事業内容 カフェレストラン、野菜直売所、施設貸出



◀ 地元の食材を使った料理が楽しめるカフェレストラン

平成22年3月に閉校になった雲部小学校の校舎を地域づくりに活用しようと、地域住民らが「合同会社里山工房くもべ」を設立し、平成25年11月にカフェ&アトリエ「里山工房くもべ」がオープンしました。かつての職員室を改装したカフェレストランでは、地元の米や野菜をはじめ、手づくりの黒豆味噌や原木シタケなどを使って調理した定食や総菜、スイーツなどを提供しています。定食のレシピ

をまとめた本も発行し、好評を得ました。また、かつての教室には、丹波木綿やハンドメイド、木工、革靴、革細工の工房や学習塾が入っています。今は新型コロナウイルス禍で縮小を余儀なくされていますが、イベントも多彩に開催しています。定期開催のマルシェでは、各工房で作られた作品や野菜、スイーツなどを販売。市内外から多くの人を訪れ、地域を盛り上げる拠点となっています。



兵庫県丹波県民局
県民交流室 産業振興課

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原688
TEL: 0795-73-3788